

（高齢者サポート事業） 高齢者へのお弁当お届け

さる三月二十三日、女性部の新しい取り組み事業として、ひとり暮らしの高齢者と、ご夫婦とも75才以上のふたり世帯へ、手作りの夕食用弁当をお届けしました。

宇佐市が進める食育推進事業の交付金と当協議会の活動費の一部を食材費に充て、調理は女性部有志と「菜の花会」などの女性ボランティアグループに担当いただき、食材の買い出し、仕込みを含め、二日ばかりで133個の弁当を制作していただきました。

該当世帯へは各集落の区長さんの全面的なご協力により、「まごころ弁当」として手渡しで届けてもらえました。

日常の食材の買い出しや調理の面で、思い通りにいかない方々に対する地区民の気持ちをお伝えし、勇気づけることを趣旨に始めましたが、たいへん喜んでもらえたとの評価をいただきました。
年1回だけのお届けですが、29年度も実施する予定です。



調理に奮戦中



美味しい弁当

津房探訪ツアー

例年は春先に実施してきた探訪ツアーですが、ことは春たけなわの四月十五日に実施しました。
今回は地区の北東部にあたる東恵良、尾立集落のスポットを巡りました。

東恵良の地獄極楽からスタート、榎本磨崖仏、尾立板碑、尾立の寺町、尾立維孝の碑を巡ってスタート地へ戻る全行程約7kmのウォーキングツアーで、地区内外から24名の参加者がありました。

各スポットでは観光ボランティアガイドの古恵良菊男さん、小野正男さん、また、観音寺ご住職の菅原智徳さん各位によるロマン溢れる解説もあり、地元からの参加者も知らなかった各スポットの由緒や、貴重さを 識る良い機会となりました。

地区の良さと先人の偉さを再認識し、徒歩による健康づくりにも役立てようとの当イベントの趣旨より、スポットを変えながら次年度以降も継続しますので、さらに大勢の方のご参加をお待ちします。
なお、今回のツアーについては大分合同新聞さんの記事でも紹介いただきました



参加者の集合写真とツアー風景



東椎屋の滝開きイベント

深見の福貴野の滝と隔年開催となる東椎屋の滝開き・安全祈願祭、ことは催行の年に当たり、六月十一日、市長をはじめとする多くの来賓と一般者合わせて約200人の参加者を得て開催されました。

主催は宇佐市観光協会、当協議会は共催の立場ながら、六月八日の滝駐車場周りに遊歩道の整備作業への出役、イベント当日の会場準備作業と参加者全員へのお接待品の頒布作業支援など、地区の交流人口を増やして活性化に繋ぐ事業として、振興、教育、女性の各部会員が積極的に取り組みました。

前日の六月十日には、既製品や購入品よりは地元のを伝えようと、女性部会員を中心にした13人のメンバーで、当日の全参加者へお接待品として配る紅白餅のもちつき（2斗、200組）をしました。

当日は好天に恵まれ、津小児童全員による合唱披露と護摩炊き神事で盛り上がり、今夏の来訪者の安全と絶えざる水の恵みを祈願するに相応しいイベントとなりました。



滝開き神事の様子



津房小児童による合唱

津房温泉の運営管理事業のご報告

津房温泉の指定管理者5年目の平成28年度（28年4月～29年3月）の運営結果についてお知らせします。

【ご利用者数】	年間 46,511 人	（前年比 1,483 人の減少）
【収入の部】	施設利用料：7,285,200 円、市からの委託料その他：557,005 円	
	前期からの繰越金：623,158 円	合計 8,465,363 円・・・①
【支出の部】	人件費：3,918,020 円、需用費：3,024,435 円	
	その他：850,624 円	合計 7,793,079 円・・・②
【収支】	① - ② = 672,284 円の黒字	
	（但し、28年単年度の黒字は 49,126 円）	

ご利用者数は漸減傾向、単年度収支は辛うじて黒字という厳しい結果でした。
前号でお知らせしたとおり、平成29年度から5年間、引き続き指定管理者として運営を続け、住民の健康づくりの場を提供し、また、まちづくり活動の自主財源として活用できる黒字運営をめざしますので、住民各位の奮ってのご利用をお願いします。

リサイクル資源回収事業

地区住民のみなさんのご協力により、28年度は計6回の売却ができました。

- ・アルミ缶、ビン類、紙類合わせての売却金額が 165,740 円
- ・紙類収集に対する市からの報奨金額が 58,110 円

合わせて 223,850 円の収入となりました
（必要経費を控除後の収益を等分した 106,425 円を津房小へ分配しました）